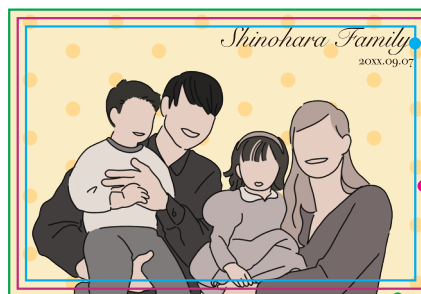


※データ作成前に必ずご確認ください

アクリルブロック アクリルグッズ

- 注文サイズとテンプレートサイズが同じか確認して下さい。
- ドキュメント情報・既存のレイヤー情報は変更しないで下さい。



余白のガイド

切れては困るデザインは余白のガイド内に収めて下さい。

カットライン (仕上がり線)

ピンクの線はカットライン(仕上がり線)です。

塗り足しのガイド

背景など、カットライン以内にデザインする場合は塗り足しのガイドまでデザインを配置して下さい。

○ 問題なし



△ デザインが切れる可能性あり



✕ デザインが切れます



✕ 塗り足しなし



印刷されていない下地が出る

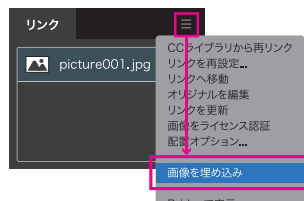


Ai Illustratorをお使いの方は入稿前のチェック

※データが完成したら、入稿前に再度保存データを開いていただき正常に保存されているか確認をお願いします。

▲ 画像の埋め込み

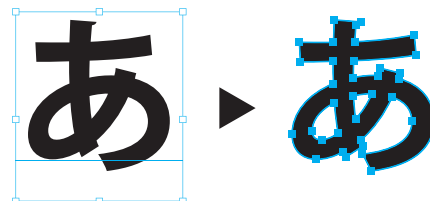
画像を配置している場合は、すべての画像を必ず「埋め込み」して下さい。「埋め込み」にするとIllustratorファイル自体に画像のデータが取り込まれるため、画像データを別途ご入稿していただく必要はありません。



ウィンドウ > リンク > 画像選択 > パネルオプション > 画像を埋め込み

▲ 文字をアウトライン化

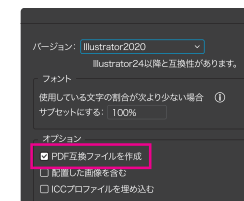
入稿前にテキストを全てアウトライン化してください。レイヤーロックとオブジェクトのロックが解除されていることを確認し、全てのデータを選択してアウトラインを作成して下さい。



選択 > すべてを選択 > 書式 > アウトラインを作成

▲ PDF互換ファイルを作成

テンプレートデータは、保存オプション「PDF 互換ファイルを作成」にチェックが付いています。これはデータチェックの際に必要なので、別名で保存する際にも外さないようにして下さい。



別名で保存 > 保存 > Illustratorオプション > オプション > PDF互換ファイルを作成

データ作成の際は必ずデジタのテクニカルガイドをご覧ください >>

<https://www.digitaprint.jp/acryl/tg/block>



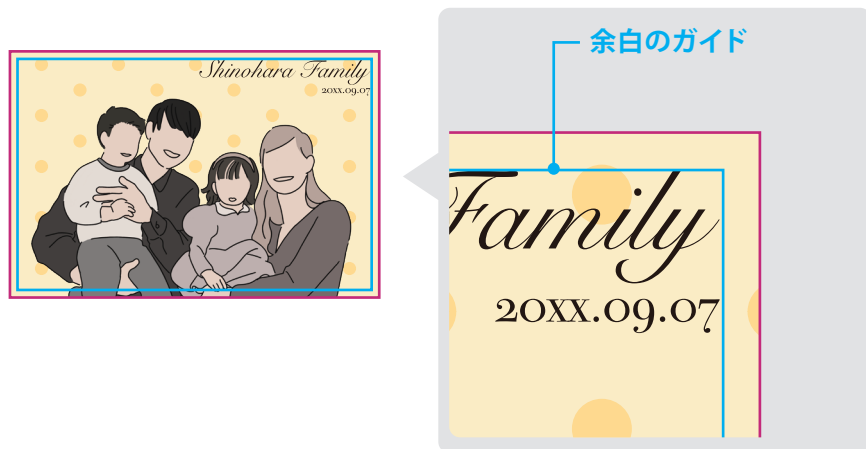
デザインデータについて

各デザインレイヤーにデザインデータを配置

「デザイン」レイヤーにデザインデータを配置して下さい。

切れてはいけないデザインや情報は余白より内側へ

ピンクの線はカットライン（仕上がり線）です。大切な情報や、切れてしまうと困るデザインは余白のガイド内に収めて配置して下さい。
カットズレなどによりピンクの線のギリギリに配置されている文字やイラストは、わずかにズレが生じただけで切れてしまう可能性があります。



ホワイトインクデータの作成

ホワイトインクを使用する場合は「ホワイト」レイヤーの目のアイコンを ON にして該当レイヤーへ印刷箇所のデータを作成して下さい。必ずホワイトは K(黒)でご指定下さい。

塗り足しを作成

ピンクの線までである背景やイラストなどは、外側のガイドまではみ出すようにデザインを伸ばしてください。びったりで作ってしまうとカットがズレた時に下地が見えてしまう場合があります。
この伸ばした部分を「塗り足し」といい、印刷物をきれいに仕上げるために必要になります。

